

東京学芸大学附属世田谷中学校公開研究会 公開授業 第3学年 音楽科学習指導案		授業者	中内 悠介
		授業学級	3年B組 (男子17名, 女子19名)
授業テーマ	「必要な情報を活用し、主体的・協働的に歌唱活動に取り組む能力・態度の育成」 <i>Let's sing a cappella chorus ♪ ~ the joy of singing with friends~</i> GIGA スクール対応 ア・カペラ合唱曲 『君と3度下の旋律』		

## 1. 題材の目標

(1) 曲想と音楽の構造との関わりを理解し、創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声を聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。

(2) 音の重なりや曲の構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら知覚したことと感受したこととの関わりを考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように歌うかについて思いや意図をもつ。

(3) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、全体の響きや各声部の声を聴きながら、創意工夫して合わせて歌う学習に主体的・協働的に取り組み、ア・カペラによる音楽アンサンブルに親しむ。

## 2. 題材の計画と本時の位置づけ

【第1.2時】4月28日(木)100分

●曲想と音楽の構造との関わりを理解して、全体の響きや各声部の声を聴きながら、「君と3度下の旋律」を合わせて歌う。

- ・曲の特徴について捉えたことを伝え合う。
- ・歌いたいパートを選び、旋律の特徴を感じ取りながら繰り返し歌う。
- ・グループで歌い合わせる。

【第3.4時】5月12日(木)100分

●曲想と音楽の構造との関わりを理解して、全体の響きや各声部の声を聴きながら、「君と3度下の旋律」を合わせて歌う。

- ・個人練習で歌えるパートを増やす。
- ・前回と異なるグループで歌い合わせる。
- ・互いの演奏を聴き合い、感想を伝え合う。

【第5時】5月26日(木)50分

●曲にふさわしい歌唱表現を工夫し、他者と合わせて歌う。

- ・グループにとって必要な情報を活用したり、

活用方法を工夫したりしながら目指したい音楽表現を焦点化する。

- ・目指したい音楽表現に近づくよう、意見交換しながら歌い合わせる。

【第6時】本時 6月18日(土)50分

●これまでの学習で身に付けた知識・技能を生かして、曲にふさわしい表現の工夫に主体的・協働的に取り組む。

- ・自分たちなりの視点で、曲のよさを他者によりよく伝えるために必要な表現の工夫をしながら歌い合わせる。

- ・グループごとに演奏動画を撮影し、提出する。
- ・合同グループで聴き合い、感想を伝え合う。

※題材の評価規準については紙面の都合で割愛する。

## 3. 本時の概要

### (1) 本時で想定する生徒の姿

自分たちなりの視点を大切にし、創意工夫する過程で思いや意図を更新し、夢中になってア・カペラ合唱に取り組む生徒の姿が見られることを期待している。

### (2) 本時における情報活用能力について

#### ●個人練習における情報活用

・パート練習動画やマイナスイラスト動画(※1)を自分なりに活用しながら、自分で見出した課題に応じて、演奏に合わせて歌ったり音を確認したりする。(学習の調整)

- ・モデル演奏者の身体の動きや表情等から表現の要点を自分なりに捉え、歌唱表現に生かす。

#### ●グループ練習における情報活用

・グループ演奏動画等を必要に応じて活用し、自分たちなりの音楽表現に生かす。

- ・iPadを活用し、撮影した動画を振り返りながらグループ内で(グループどうしで)表現の工夫をする。

※1 制作: アカペラ教育プロジェクト 1.0 <https://acappella-education.jp/news/24>

#### 4. 本時の展開

・音の重なりや曲の構成を知覚し、知覚したことと感受したこととの関わりを考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように歌うかについて思いや意図をもつ。

・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、全体の響きや各声部の声を聴きながら、創意工夫して合わせて歌う学習に主体的・協働的に取り組み、ア・カペラによる声楽アンサンブルに親しむ。

・主な学習活動 □予想される生徒の様子	指導上の留意点
<p>〈1. 導入〉(5分)</p> <p>●これまでの学習内容を確認する。</p> <p>・前時までの学習内容を生かし、演奏動画に合わせてクラス全員で歌う。</p>	<p>・クラスの実態に応じて演奏動画を活用し、グループで歌い合わせるイメージをもつことができるようにする。</p>
<p>〈2. 展開〉(1)(10分)</p> <p>●個人で歌う。</p> <p>・PCを活用しながら個人で歌う。</p>	<p>・一人一人の課題と向き合い、グループ演奏につながる個人の歌唱になるよう助言する。</p>
<p>〈2. 展開〉(2)(15分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p><b>自分たちの「もっとこう歌いたい」を伝え合い、歌で表現しましょう。</b></p> </div> <p>●グループで歌い合わせる。</p> <p>・音楽表現を工夫し、他者とどのように合わせて歌うかについて思いや意図をもつ。</p> <p>・グループ内で動画撮影し、自分達の演奏を振り返りながら歌う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>□予想される生徒の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思いや意図を伝え合い、夢中になって歌う。</li> <li>・練習過程で、グループ練習と個別練習を使い分け、必要に応じてPCやiPadを活用する。(協働的学習と個別学習の往還)</li> </ul> </div>	<p>・生徒の活動内容や演奏について、適宜、助言したり価値づけしたりする。</p> <p>・どのように歌い合わせればよいか悩んでいる生徒やグループには、気付いたり感じたり理解できていることを具体化できるよう助言する。</p>
<p>〈2. 展開〉(3)(15分)</p> <p>●グループ同士で演奏を聴き合う。</p> <p>・演奏を聴き合いながらグループごとのよさを伝え合い、ア・カペラ合唱の楽しさを共有する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>□予想される生徒の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他のグループの演奏を聴き、参考にしたり意見交換したりする。</li> <li>・他のグループと一緒に歌い合わせる。</li> </ul> </div> <p>●見とりたい項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他のパートの声との重なりやつながりを聴き合いながら歌っている。</li> </ul>	<p>・互いの演奏のよさや味わいを感じ取りながら聴き合う生徒の様子を見取る。</p>
<p>〈3. まとめ〉(5分)</p> <p>●本時及び題材のまとめをする。</p> <p>・これまでの学習の総括として、クラス全員で歌う。</p>	<p>・題材全体を見通した学習活動のまとめをする。</p>